

令和7年度 学校経営計画書

学校番号	51	学 校 名	静岡県立島田商業高等学校（定時制）	校 長 名	増田 章江
------	----	-------	-------------------	-------	-------

1 スクール・ミッション

志太・榛原地区の商業教育の拠点校として、身近な課題を発見し、解決に向けて主体的にチャレンジする教育活動を通して、地域社会で活躍できる生徒の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
商業の専門高校として「身近な課題を発見し、解決に向けて主体的にチャレンジすることで、地域社会で活躍する生徒」を育成します。 (1) 職業人に求められる倫理観、ビジネスマナー、ホスピタリティを習得するとともに、商業に関する専門性を持つ生徒を育成します。 (2) 身につけた知識・技術を活用し、地域や社会に応用・実践しながら、他者と協調して取り組むコミュニケーション能力とチャレンジ精神を持つ生徒を育成します。 (3) より良い地域社会の構築を目指して主体的に学び、探究活動、部活動、特別活動、商業教育、キャリア教育を通して豊かな人間性を育成します。	基礎学力の定着を図るとともに、専門教科の協働的で実践的な学びを通して、これからのビジネス社会に必要な力を育成します。 (1) 基礎学力の定着を図り、商業の専門性を進化させ、生徒の適性・特性に応じた進路実現に即した教育課程を実現します。 (2) 地域の産業界や各機関と連携し、体験的・実践的な学習活動を実施します。 (3) ICTを活用し、「主体的・対話的で深い学び」のある授業を実施します。 (4) 部活動・特別活動・課題研究等の探究活動・キャリア教育を通じて、豊かな心と健やかな体を育成する教育活動を実施します。	本校では、入学時に次のような生徒を求めます。 (1) 自分自身の存在を肯定し、途中であきらめず、失敗を恐れず自分で考え、行動しようとする生徒。 (2) 身近な課題に主体的にチャレンジし、地元で活躍したいと考えている生徒。 (3) 商業（ビジネス）活動に関する興味・関心と意欲を持ち、粘り強く資格取得を目指し、自分の夢に向かって邁進できる生徒。 (4) 生徒会や部活動、地域ボランティア活動などに積極的に取り組み、学校生活を活気あふれる有意義なものにしていきたいと考えている生徒。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

ア 安心安全な学校作り

イ 「わかる」授業（主体的・対話的で深い学び）の実践

ウ 規範意識を高め、公共心を育む生徒指導

エ 改革を意識した職務執行

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	(ア)事故、重大ないじめのない学校作り	- 生徒への勇気づけ（声掛け） - 面談やカウンセリング、SSTによる良好な人間関係作り	相談できる教職員が校内にいる生徒 80% コミュニケーション能力が高まった生徒 80% SST年3回実施	生徒課 各学年部

様式第 1 号

		・自分の命を守る防災意識の高揚、避難と復旧に協力する意識付け	防災訓練により防災意識が高まったと答える生徒 80%	生徒課
		・家庭と連携した情報モラル教育の推進 ・成人年齢を意識した教育、生徒と保護者の安心安全環境づくり	ネットに起因するトラブル 0 保護者面談やメール配信において、情報モラルや生徒に関する危険情報を提供	生徒課 各学年部
	(イ) 特別支援体制の充実	・教職員の生徒支援意識と能力の向上、人権意識の向上	生徒や家庭からの相談に丁寧に対応する学校と答える生徒保護者各 80% 人権感覚チェックシートの年 3 回実施	管理職
		・特別支援学校のセンター的機能を活用した研修の実施	研修が効果的であったと答える教員 100%	教務課
イ	(ア) 生徒の基礎学力向上	・ I C T 機器を活用したわかる授業の実践	ICT 機器を活用するなど、教え方や教材に工夫があると答える生徒 80% ICT 機器を活用した授業や授業準備のための研修 3 回	教務課 各教科
		・個に応じた基礎学力の定着指導	授業は自分の学力を伸ばすのに役立っていると答える生徒 80% 基礎学力を定着させる補習等に参加した生徒 60%	教務課 各教科
		・基礎力診断テスト（国数英）を年 2 回実施	基礎力診断テストの結果が伸びた生徒 60%	教務課 各教科 (国数英)
	(イ) 商業に関する知識・技能の習得	・各種検定合格に向けた丁寧な学習指導	各種検定合格率 50%	商業科
		・生徒の企画力やプレゼンテーション能力向上のための授業実践	商業に関する専門的な知識・技能を習得した生徒 90%	商業科
ウ	(ア) 基本的生活習慣の確立	・場に応じて自ら挨拶する意識の涵養	自ら挨拶ができ、言葉遣いに気を付けている生徒 90%	生徒課 各学年部
		・自ら体調管理を心掛け、授業へ主体的に取り組む生徒への意識付け	欠席、遅刻、早退数が昨年度より減少している生徒 80%	教務課 各学年部
		・時間、期限を守る意識の涵養	提出物の期限を守っている生徒 80%	教務課 各学年部 各教科
	(イ) 健康増進のための取り組み	・自ら体調管理を心掛けるため、安定した生活を送れる基礎づくりの意識付け	健康診断受診率 100% 要再検査生徒の受診率 50%	生徒課 各学年部
エ	(ア) 法令に基づいた適正・迅速な業務遂行	目的志向型校内予算の効果的・計画的な執行	人為的要因による学校経営予算の執行残 0	事務部
		チェックリストを活用した適正な会計事務執行	監査・会計指導での指摘事項 0	事務部

様式第 1 号

	(イ)ワークライフバランスを意識した業務執行	・スクラップ・アンド・ビルドを意識した業務改革 ・閉課程に対応した業務や備品の整理	改革と閉課程を意識した業務の見直し、平準化	管理職
--	------------------------	--	-----------------------	-----